

平成20年度

全国学力・学習状況調査結果の概要と
指導改善例

－ 自ら学ぶ力を育むために －

平成20年12月
高知県教育委員会

— 目 次 —

I	調査の概要	1
II	学力の状況	2
1	概要	3
2	学力についての全国比較	5
3	教科に関する調査結果の平成19年度との比較	7
4	市町村・学校別の状況	9
III	教科ごとの学力の状況	13
1	小学校国語	14
	指導改善例	20
2	小学校算数	24
	指導改善例	30
3	中学校国語	34
	指導改善例	40
4	中学校数学	44
	指導改善例	50
IV	質問紙調査の状況	54
1	児童生徒の学習や生活の状況	55
2	学校の取り組みの状況	61
3	家庭学習と授業の状況	65
4	基本的な生活習慣等の状況	89
5	校内研修と調査結果の活用の状況	101
6	質問紙調査の設問別集計結果	110

I 調査の概要

1 調査の目的

- ◇ 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◇ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 実施日 平成20年4月22日(火)

3 公表日 平成20年8月29日(金)

4 調査内容

- (1) 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- (2) 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
「知識」に関する問題と、「活用」(知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力等)に関する問題を出題
- (3) 生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査を実施

5 県内(公立学校)の参加状況

- (1) 参加学校数

公立小学校245校

※特別支援学校(小学部)1校を含む

※小学校6年生が在籍していない小学校3校を除く

公立中学校119校

※特別支援学校(中学部)2校を含む

※修学旅行のため後日実施した中学校1校を除く

公立小・中学校合計学校数364校

- (2) ① 小学校解答(回答)児童数

国語A	6,763名	国語B	6,759名
算数A	6,763名	算数B	6,758名
児童質問紙	6,760名		

- ② 中学校解答(回答)生徒数

国語A	5,650名	国語B	5,658名
数学A	5,651名	数学B	5,647名
生徒質問紙	5,651名		

※ 国・私立学校の参加状況

平成20年度 5校(平成19年度 9校)

Ⅱ 学力の状況

- 1 概要
- 2 学力についての全国比較
- 3 教科に関する調査結果の平成19年度との比較
- 4 市町村・学校別の状況

1 概要

(1) 教科に関する調査結果

- 小学校の国語と算数の平均正答率は、ほぼ全国水準であるが、中学校においては国語A（知識）問題は全国水準をやや下回り、国語B（活用）・数学A（知識）・数学B（活用）問題は19年度と同様に全国水準を5ポイントをこえて下回っている。

【小学校教科ごとの平均正答率】

		国語A	国語B	算数A	算数B
平成20年度	高知（公立）（%）	65.0	47.7	72.6	49.3
	全国（公立）（%）	65.4	50.5	72.2	51.6
平成19年度	高知（公立）（%）	81.7	60.0	81.6	60.7
	全国（公立）（%）	81.7	62.0	82.1	63.6

【中学校教科ごとの平均正答率】

		国語A	国語B	数学A	数学B
平成20年度	高知（公立）（%）	70.0	54.7	54.5	41.5
	全国（公立）（%）	73.6	60.8	63.1	49.2
平成19年度	高知（公立）（%）	78.1	64.0	62.8	50.6
	全国（公立）（%）	81.6	72.0	71.9	60.6

<教科に関する調査について>

20年度調査は、19年度と比べやや難しい内容となっており、各教科の平均正答率が低くなっているが、過去の調査と同一の問題の正答状況等を踏まえると、学力が低下しているとはいえない。

過去の調査問題とは、昭和37,39年度及び平成5,13,15,16年度教育課程実施状況調査、並びにTIMSS（国際教育到達度評価学会（IEA）が進めている国際数学・理科教育動向調査）1995、TIMSS1999、TIMSS2003において出題された問題をさす。

なお、各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

（平成20年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント 文部科学省資料より引用）

- 小・中学生ともに、19年度と同様に基礎的な知識や技能を実生活で活用する力が弱い。
- 無解答率は中学生において、19年度と同様に全国と比べて高くなっている。特にB（活用）問題の記述形式の問題は無解答率が高い。

【中学校国語B・数学Bの記述形式の問題の無解答率の平均】

		国語B	数学B
平成20年度	高知（公立）（%）	29.3	34.1
	全国（公立）（%）	20.2	27.0
平成19年度	高知（公立）（%）	18.3	33.4
	全国（公立）（%）	10.7	23.0

※20年度、中学校の記述形式の問題は、A問題には出題されていない。

(2) 課題

- 小学生の平均正答率はほぼ全国水準であるが、中学生は全国水準を下回っており、19年度と同様に、小学生と中学生の学力の定着状況に格差が見られる。

全国との差	小学生	国語A : 0.4ポイント低い、 算数A : 0.4ポイント高い、	国語B : 2.8ポイント低い 算数B : 2.3ポイント低い
全国との差	中学生	国語A : 3.6ポイント低い、 数学A : 8.6ポイント低い、	国語B : 6.1ポイント低い 数学B : 7.7ポイント低い

- 小学生においては、基礎的な知識は概ね身に付いているが、グラフなどの資料から必要な情報を読み取る力や、まとめて書く力などの活用する力は十分身に付いていない。

(例) グラフの情報から分かったことをもとにして意見を書く問題。

3
二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、**ウ**のところでのどのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【記録の一部】 (省略)

【条件】

- 話し合いのテーマに合わせて、グラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを書くこと
- 分かったことについては、木村さんの発表の内容と同じにならないこと
- 80字以上100字以内にまとめて書くこと

梅山市内の小学生のみなさんへ

図書館だより★5・6月号

梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいようにくらしめています。どうぞご利用ください。

■図書室が開いている曜日・時間

- 大塚日から金曜日
- 午前9時から午後5時まで
- 土曜日・日曜日
- 春休み・夏休み
- 春休み・夏休みを除く

■図書相談員

- 1. 2年生→1階
- 3. 4年生→2階
- 5. 6年生→3階

■本の貸し出しについて

- 一人5冊までとし、2週間以内の使用へ返してください。

■本を返すとき

- コンビニマークを返す必要があります。借りが分らないときは、借の人の窓口にお知らせください。

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか？
【家や図書館での一日の読書時間】(平成29年4月調査)

★5月・6月の図書館行事★

【入形劇】
【7月の会(15)】
5月29日(水)
14:30~16:00

【読み聞かせ】
【7月の会(15)】
6月5日(日)
14:30~16:00

国語B : 正答率	高知県	29.9%	全国	32.8%
無解答率	高知県	21.3%	全国	17.6%

- 中学生は、19年度と同様に基礎的な知識とその基礎的な知識を活用する力の両方ともに身に付いておらず、特に数学は正負の四則計算や文字を使った計算など数学の土台となる基礎的な計算問題や簡単な代数の問題すらできていない生徒が依然として多い。

(例) $a = 4$ 、 $b = -3$ のとき、式 ab の値を求める

数学A : 正答率	高知県	58.9%	全国	70.7%
無解答率	高知県	19.7%	全国	12.9%

$x + 2y = 6$ を y について解く

数学A : 正答率	高知県	39.2%	全国	53.9%
無解答率	高知県	16.4%	全国	9.9%

3 教科に関する調査結果の平成19年度との比較

- 全国の平均正答率との差は、小学校では全国平均に比べて教科によって多少の変化はあるものの、ほとんど違いは見られない。中学校では、国語B、数学A・Bの平均正答率は全国との差がわずかではあるが、縮まっている。しかし、問題の難易度も異なっており、2回の調査だけではこれを上向きの傾向であるとはいえない。総合的に見て、前回と同様の状況である。

国語

- 小学校国語A（知識）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ0.4ポイントひらいた。
 ○ 小学校国語B（活用）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ0.8ポイントひらいた。
 ○ 中学校国語A（知識）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ0.1ポイントひらいた。
 ○ 中学校国語B（活用）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ1.9ポイント縮まった。

小学校国語

		国語A	国語B
平成20年度	高知（公立）平均正答率（%）	65.0	47.7
	全国（公立）平均正答率（%）	65.4	50.5
	全国と高知県の差	-0.4	-2.8
平成19年度	高知（公立）平均正答率（%）	81.7	60.0
	全国（公立）平均正答率（%）	81.7	62.0
	全国と高知県の差	0.0	-2.0
20年度－19年度		-0.4	-0.8

中学校国語

		国語A	国語B
平成20年度	高知（公立）平均正答率（%）	70.0	54.7
	全国（公立）平均正答率（%）	73.6	60.8
	全国と高知県の差	-3.6	-6.1
平成19年度	高知（公立）平均正答率（%）	78.1	64.0
	全国（公立）平均正答率（%）	81.6	72.0
	全国と高知県の差	-3.5	-8.0
20年度－19年度		-0.1	1.9

算数・数学

- 小学校算数A（知識）は、19年度は全国の平均正答率よりは0.5ポイント下回っていたが、今年度は0.4ポイント上回った。
- 小学校算数B（活用）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ0.6ポイント縮まった。
- 中学校数学A（知識）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ0.5ポイント縮まった。
- 中学校数学B（活用）は、全国の平均正答率との差が、19年度と比べ2.3ポイント縮まった。

小学校算数

		算数A	算数B
平成20年度	高知（公立）平均正答率（%）	72.6	49.3
	全国（公立）平均正答率（%）	72.2	51.6
	全国と高知県の差	0.4	-2.3
平成19年度	高知（公立）平均正答率（%）	81.6	60.7
	全国（公立）平均正答率（%）	82.1	63.6
	全国と高知県の差	-0.5	-2.9
20年度－19年度		0.9	0.6

中学校数学

		数学A	数学B
平成20年度	高知（公立）平均正答率（%）	54.5	41.5
	全国（公立）平均正答率（%）	63.1	49.2
	全国と高知県の差	-8.6	-7.7
平成19年度	高知（公立）平均正答率（%）	62.8	50.6
	全国（公立）平均正答率（%）	71.9	60.6
	全国と高知県の差	-9.1	-10.0
20年度－19年度		0.5	2.3

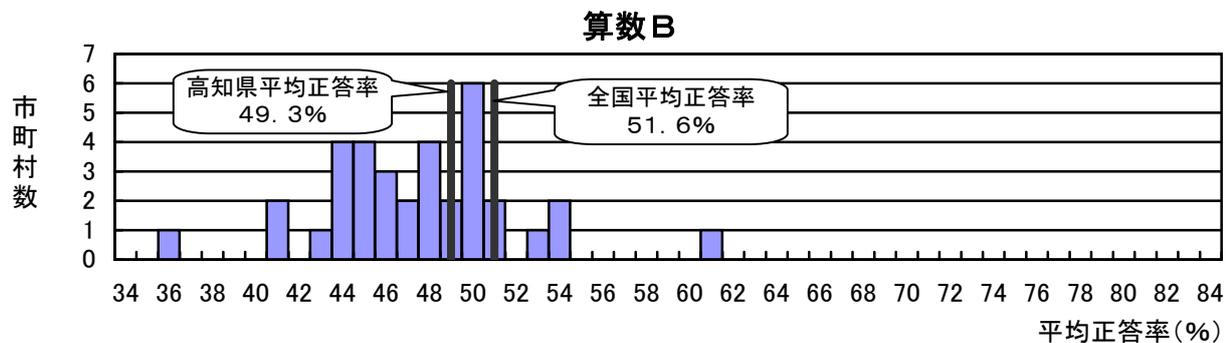
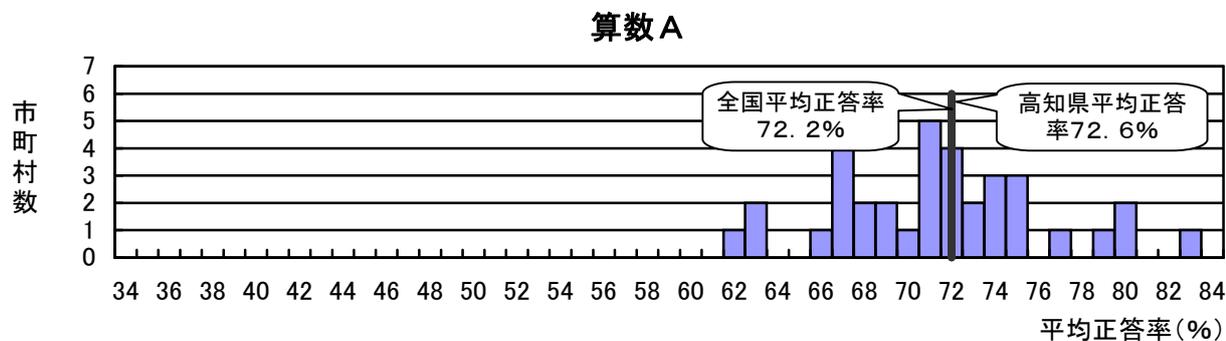
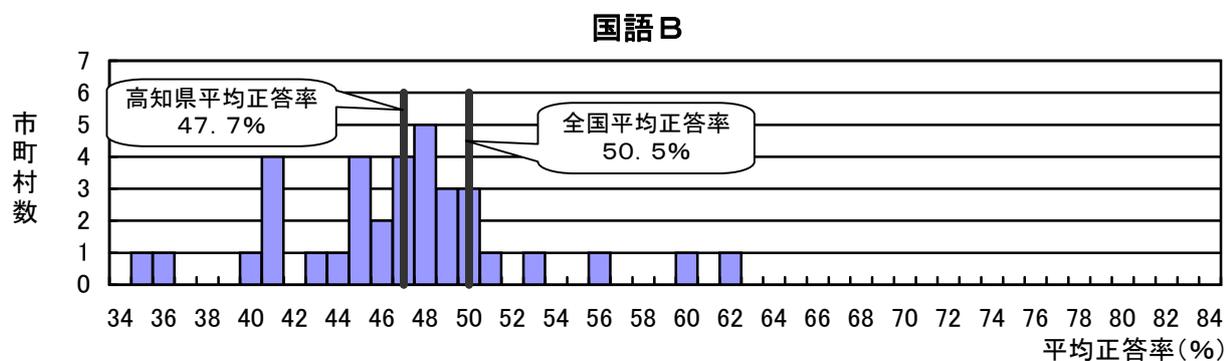
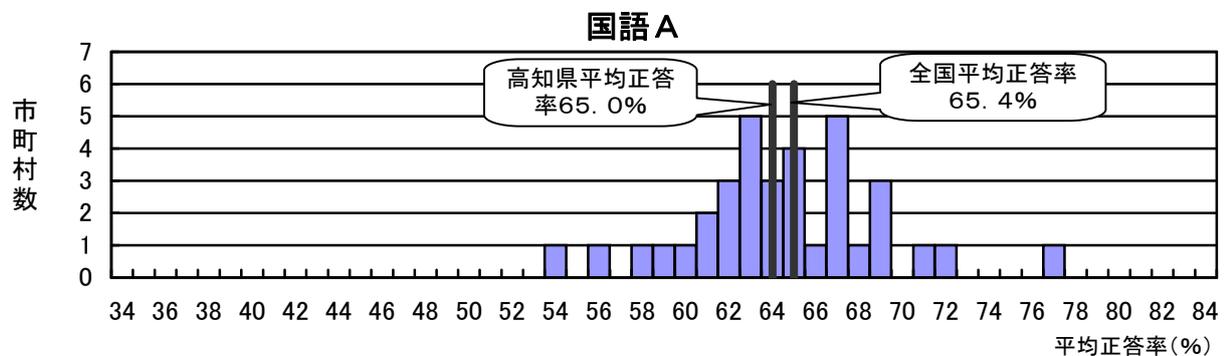
4 市町村・学校別の状況

(1) 市町村別平均正答率の分布状況

○ 19年度と同様に、市町村によって学力の定着状況に格差が見られる。

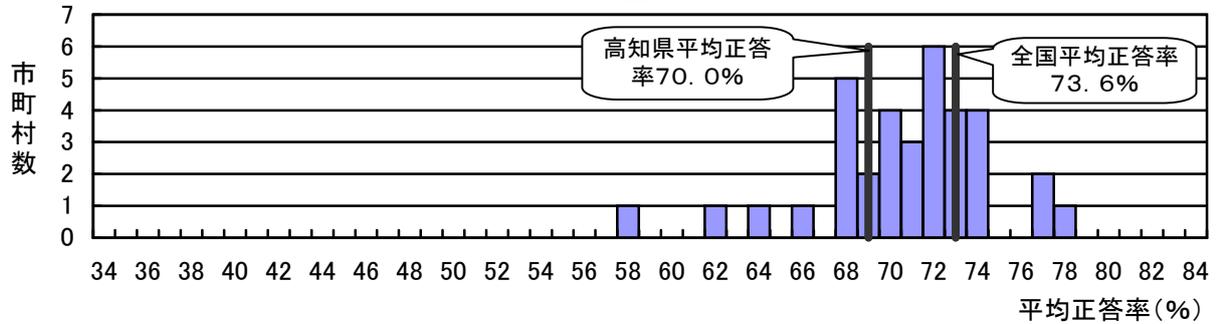
[小学校]

[縦軸は市町村数、横軸は平均正答率]

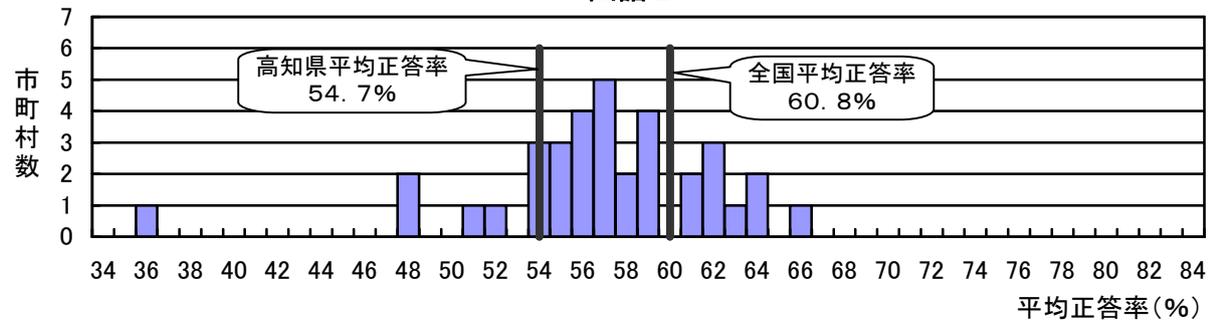


[中学校]

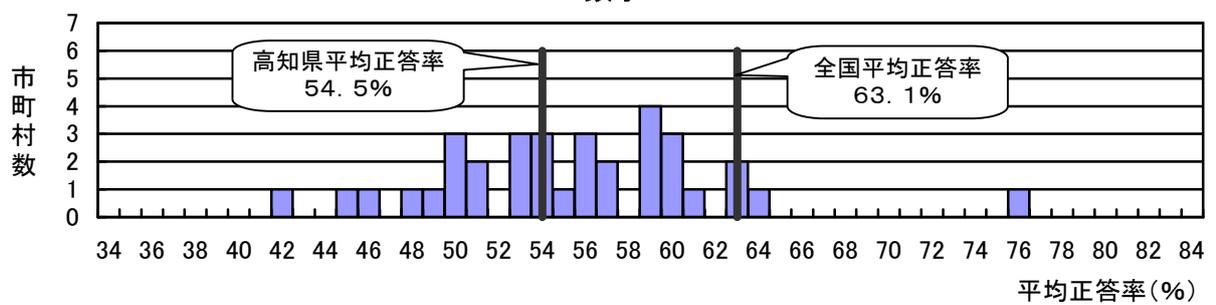
国語A



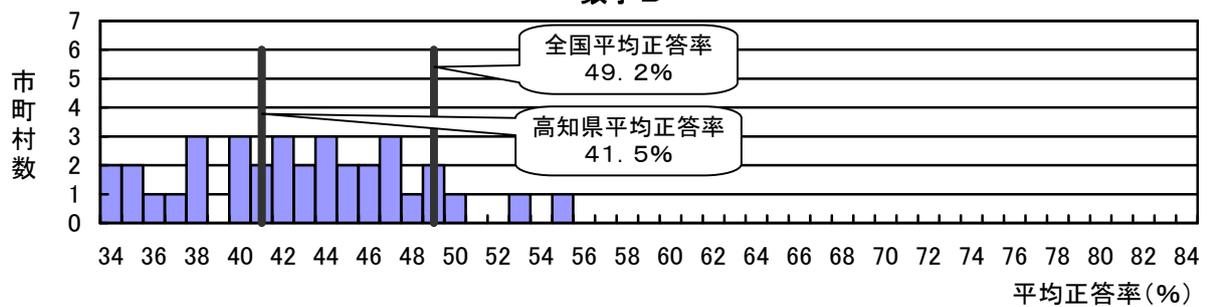
国語B



数学A



数学B



※縦軸の市町村数について・・・学校数にかかわらず1市町村として表している。

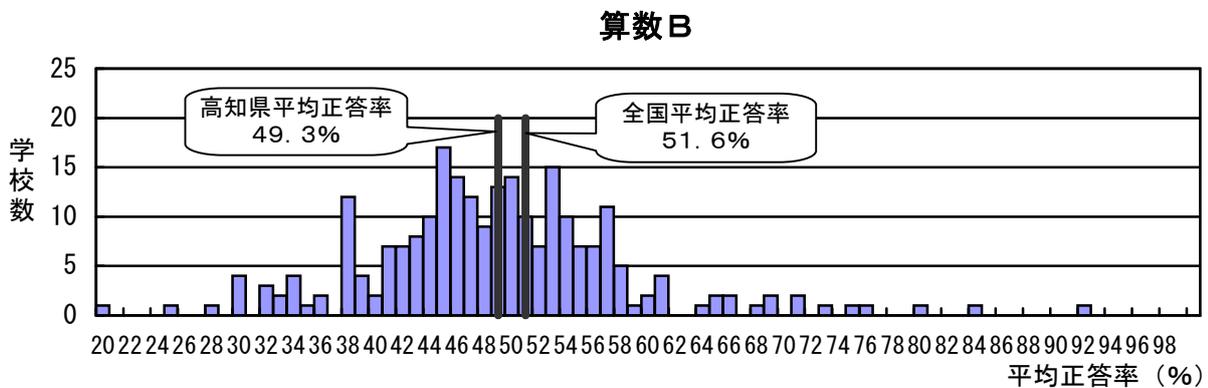
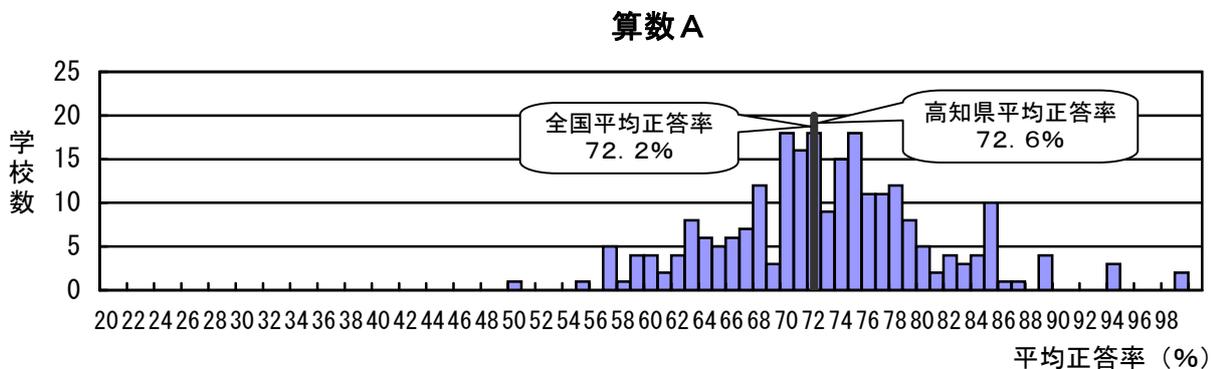
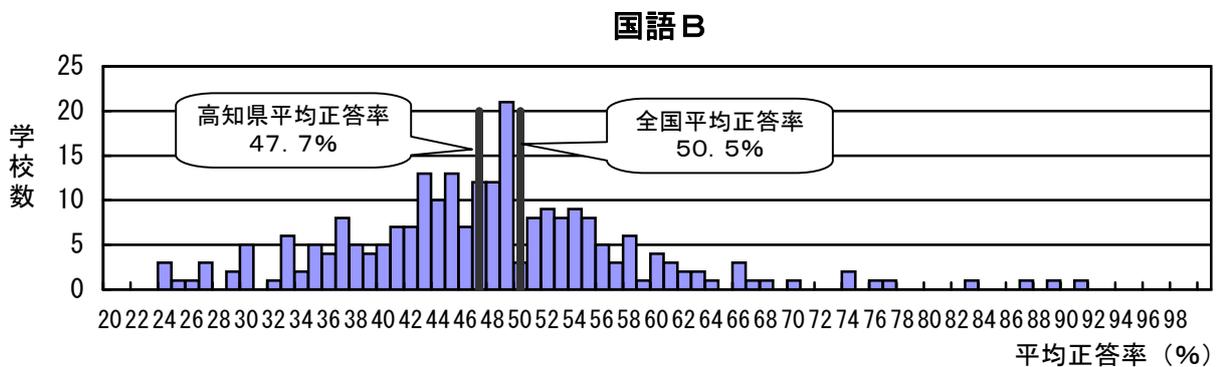
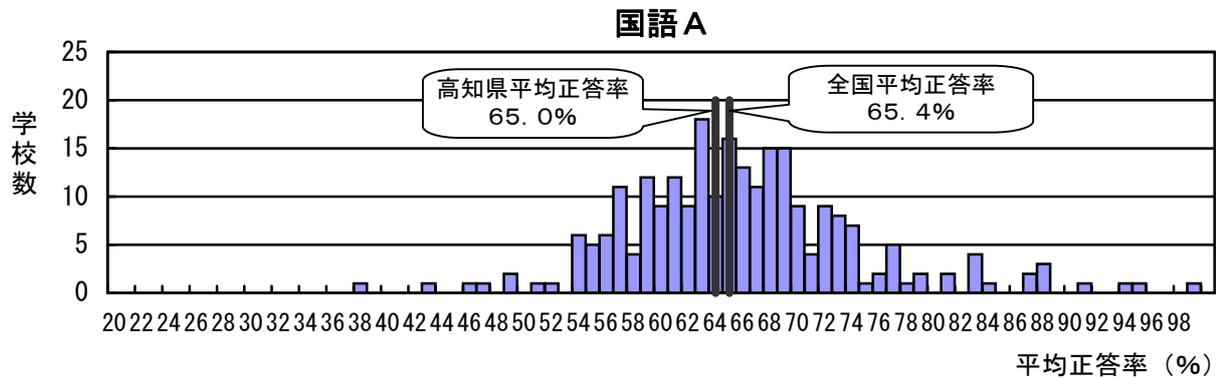
※横軸の目盛りについて・・・例えば60から上に伸びたグラフの目盛りは60より大きく61以下を表している。

(2) 学校別平均正答率の分布状況

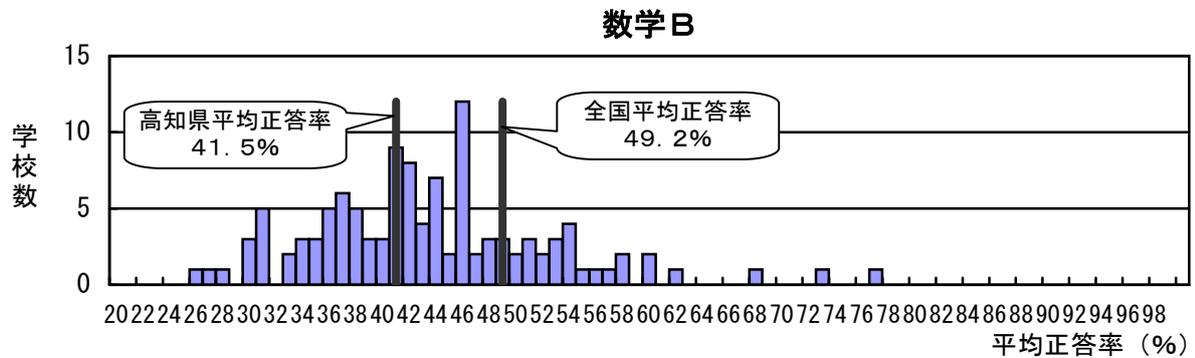
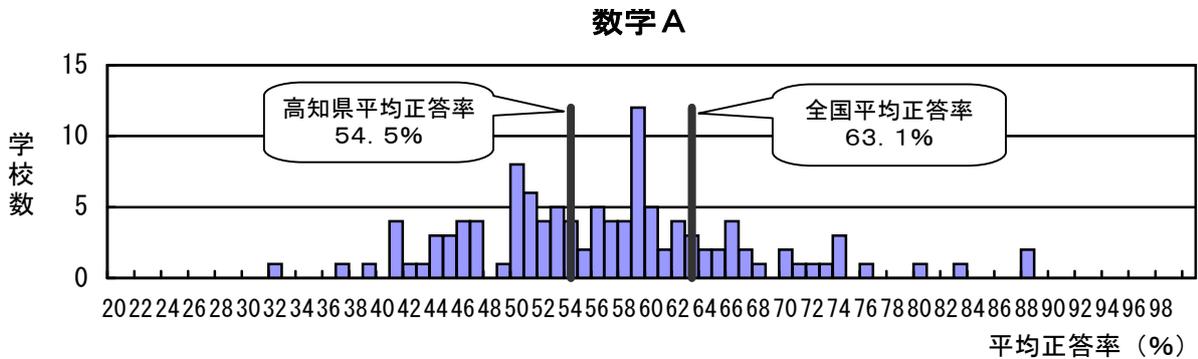
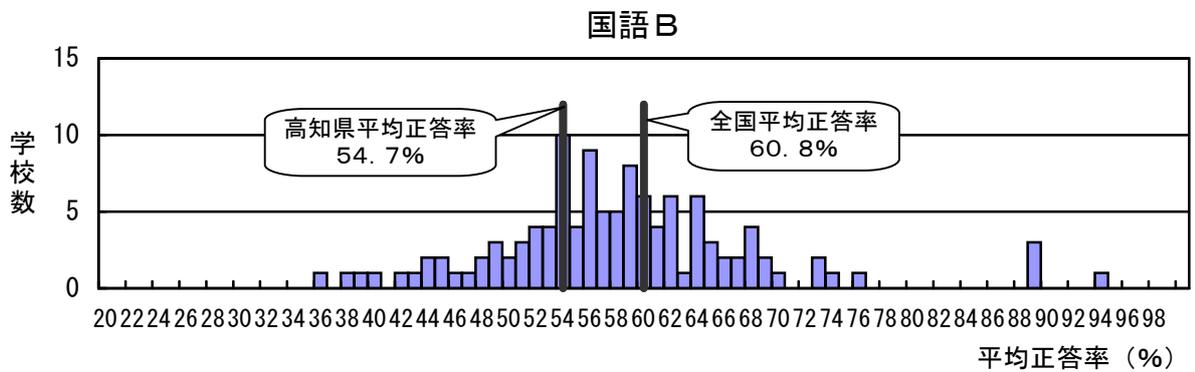
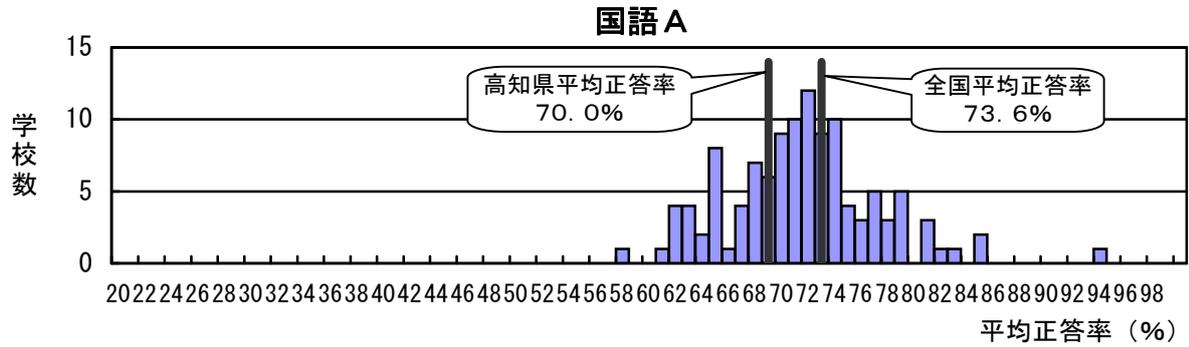
○ 昨年度と同様に、学校によって学力の定着状況に格差が見られる。

[小学校]

[縦軸は学校数、横軸は平均正答率]



[中学校]



※縦軸の学校数について・・・児童生徒の在籍数にかかわらず1校として表している。
 ※横軸の目盛りについて・・・例えば60から上に伸びたグラフの目盛りは60より大きく61以下を表している。